



64人で2泊3日の共同生活 通学合宿

町内4小学校の6年生64人が参加する「通学合宿」を10月27日から3日間南の関うから館で行いました。

これは、町教育委員会が毎年開催しているもので、今回で17年目。今年は、初めて4校区混合の6つの班で、食事の準備や掃除などを協力して行いました。

2日目の夕食は、自分たちで献立を考え、決められた予算で材料を購入し、ハンバーグや焼きそば、野菜炒めを作りました。

また、同時に文化財や人権に関する学習も行われました。

夕飯の準備をしていた奈良原陽花さん(小原)は「普段、自分で買い物をしないから、商品の場所がわからなくて時間がかかってしまった」と話しました。



▶南関町の歴史も学習しました



▶人さかし競争の様子。2人でゴールを目指します

スポーツの秋 汗を流す 福祉スポーツ大会

南関町社会福祉協議会(佐藤安彦会長)は11月8日に、南関町福祉スポーツ大会を農村広場で開催しました。

同大会は町内の福祉団体・施設が一体となり、スポーツを通じて体力の維持と健康への意識を高め、参加者の親睦を深めることを目的に毎年開催されています。

当日はこどもの丘保育園、身体障害者福祉協議会、うすま苑、延寿荘などから288人が参加し、秋の青空の下汗を流しました。ボール運び、紅白玉入れ、お菓子食い競争など、チームや年齢に関係なく交流し、自由にスポーツを楽しみました。また、南関笑福隊による日向ひょっとこ踊りも行われ、会場に福を届けました。



▶笑福隊の登場で会場は笑いがあふれました

大原地区の伝統文化を学ぶ1日 三小で秋の収穫祭

第三小学校(森山資典校長)は10月26日に、秋の作物が無事に収穫できたことに感謝し、児童たちに地域の伝統文化に触れる機会を持ってもらおうと「収穫祭」を開催しました。

当日は、子どもたちが育てたさつま芋の収穫や、肥猪と小原の「神楽」・豊永は「ひょっとこ踊り」を披露、またPTAによる和太鼓の演奏が行われ会場はおおいに盛り上がりました。

また、豚汁の炊き出しも行われて、子どもたちはもりだくさんの一日を過ごしました。

優雅な美しいバラが咲き乱れる 豊前街道南関御茶屋跡

11月2日から4日にかけて「菊花・バラ展」(主催:南関宿場町伝楽人)が南関御茶屋跡で開かれました。この展示会は春と秋に開かれ、御茶屋跡の中では唐杉純夫さん(関下)が心を込めて栽培したバラ100種類180点が飾られました。また、外では野口第三郎さん(肥猪)が栽培した菊約30種が展示され、来場者はバラと菊の美しさにうっとりしながら、「珍しいバラが見られるので、毎年楽しみにしています。今年も癒されました」と話しました。



▶バラを楽しむ来場者

稲刈りで秋の田舎を体験

まるごと田舎体験事業推進協議会

農作業を通じて南関町を知ってもらおうと、まるごと田舎体験事業推進協議会(田中光秋会長)は10月13日、まるごと田舎体験事業の稲刈りを上長田で行い、福岡市や熊本市などから12組の家族45人が参加しました。

6月に植え付けた苗(ヒノヒカリ)は、立派に成長しており、参加者たちは最後まで笑顔で刈りました。鎌の使い方に慣れず、時間がかかっていた参加者も、コツをつかむと、効率が上がり手際よく刈り取っていました。

稲刈りの後は、芋ほり体験も行われました。子どもたちは、自分の顔より大きく育ったサツマイモを夢中で掘り、大きな芋が掘れると隣の家族からも拍手があがるなど、子どもたちが大活躍の芋ほりでした。

昼食には生活研究グループ連絡協議会による手作りの郷土料理が振る舞われ、参加者たちは南関町の秋を五感で満喫しました。

熊本市から参加した家族は、「ずっと前から、今日を楽しみにしていた。子どもたちもたくましくてビックリ。お米を受け取る日までが待ち遠しい」と笑顔で話しました。



▲両手に稲を抱えて運びます



▲特大のサツマイモが掘れました

実った黄金の稲を手刈り 二小5年生が稲刈り体験

第二小学校(吉永一浩校長)5年生13人は、11月5日、学校近くの水田で稲刈りを行い、学校応援団と保護者7人が参加しました。

児童たちは鎌の使いかた指導を受けると、すぐ鎌を使いこなし、テンポよく刈り取っていきました。

この水田で作っているのはもち米で、脱穀まで手作業で行い、収穫したもち米は全校児童でもちつき大会を行う予定です。

牝小路彩乃さん(宮尾)は「稲刈りは、家の手伝いでしたことはあったけど、掛け干しは初めてだった。もちつき大会が楽しみ」と笑顔で話しました。



▶刈った稲を持ってハイチーズ



▶中野さん(左)と新しく委嘱を受けた山下さん(右)

人権擁護委員活動で感謝状 中野力さん

法務大臣感謝状の授与式が10月10日、役場で行われ、佐藤町長から中野力さん(肥猪町)に感謝状が贈られました。

中野さんは、平成25年7月1日に委嘱を受けてから、2期6年3カ月、人権相談をはじめ、人権週間での街頭啓発活動など活躍し、令和元年9月30日付けで退任しました。

中野さんは「南関町の人権教育は盛んなので、安心しています。人権教育がもっと浸透するように、たくさん情報を収集して勉強してほしい」と語りました。

また、10月1日付けで山下美紀さん(豊永)が委嘱を受けました。